

マイナカード 何に役立つか説明を

大学教員

(神奈川県 70)

マイナンバー制度が始まってすぐ、マイナカードを作った。米国の社会保障番号の使い勝手のよさを滞在10年間で実感したので、同様の利便を期待したのだ。米国では自分の年金や社会保障、税を管理し、何に使われているかが明確だった。一方、マイナカードを使ったのは、受領と情報更新の時だけ。確定申告での利用に挑戦したが繁雑で諦めた。

政府はマイナカードに健康保険や運転免許などの各種個人情報情報を詰め込み、事実上、義務化する考えのようだ。この制度は番号さえあればよ

く、カード取得は任意ではなかったのか。しかも、分野も使い方も異なる情報を何のためにまとめるのか。目的をはっきり示せない政府が、しっかり管理できるとは思えない。紛失時の再発行にカード内の情報が必要とは、悪い冗談のようだ。

福祉や利便性の向上に貢献するのか。国民の多くが納得していないのは、普及が進まぬことで証明済みだろう。カード普及だけを目的に、余計な負担を強いるのはやめてほしい。現状は、利便性を感じる人だけが作ればよい。何が問題で、何の目的でこの施策を進めるのか。政府には丁寧にご説明いただきたい。